

アーバンネイチャー北九州

～ ネイチャーポジティブの
グローバルモデルを目指して ～

生物多様性を取り巻く環境の変化

- 現在、過去に例を見ないスピードで生物多様性が失われている。
- そのため、2022年の生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）において、2030年までのミッションとして、生物多様性の損失を止め、反転させて回復軌道に乗せる 「ネイチャーポジティブ（自然再興）」 が世界共通の目標となった。

これまでの生物多様性

自然を守る、壊さない



これからの生物多様性 (ネイチャーポジティブ)

自然を育み、回復させる

- 生物多様性が損なわれると企業活動や人間の生活に大きな影響を及ぼすため、地球のサステナビリティを左右する重要なファクター

北九州市の取り組み事例（響灘ビオトープ）

- 北九州市では、若松区響灘地区に、**自然創成**となる**国内最大級のビオトープ**を有している。（面積41ha：**東京ドーム約9個分**）
- 湿地や淡水池、草原等多様な環境が育まれ、約800種の生きものが生息している。
- 国の自然共生サイトにも登録されている。（**福岡県で唯一**）



生息する希少な生きもの（代表例）



ベッコウトンボ（絶滅危惧種）



チュウヒ（絶滅危惧種）

- **北九州市は、世界の潮流に先駆けて、ネイチャーポジティブに取り組んできた**

北九州市の都市と近接した豊かな自然

特徴①

3つの海

- 響灘 関門海峡 周防灘 -

特徴②

3つの国立・国定公園

- 瀬戸内海国立公園 北九州
国定公園 玄海国定公園 -

特徴③

市域面積の**約4割**が森林

特徴④

渡り鳥の十字路

- 日本列島を縦断
× 日本 - 大陸間を横断 -

特徴⑤

希少な生物の宝庫

- 平尾台、曽根干潟、
響灘ビオトープ -



若松北海岸



響灘緑地グリーンパーク



北九州市響灘ビオトープ



皿倉山



合馬の竹林



ほたる



平尾台



山田緑地



関門海峡



水環境館



曽根干潟

都市にあふれる“豊かで面白い”自然

北九州市の優位性

アーバンネイチャーランキング（政令市比較）

特徴①

3つの海

特徴②

3つの国立・国定公園

特徴③

約4割が森林

特徴④

渡り鳥の十字路

特徴⑤

希少な生物の宝庫

	面する海の数	海岸線の距離	国立・国定公園の数	森林と都市のバランス (森林割合/都市割合)	渡り鳥の十字路の有無	干潟面積	造成されたビオトープ面積
1位	北九州市 (3つ)	北九州市 (228km)	北九州市 (3つ)	北九州市 (0.94)	北九州市 (あり)	熊本市 (925ha)	堺市 (113ha)
2位	浜松市 福岡市 (2つ)	福岡市 (158km)	京都市 (2つ)	福岡市 (0.59)	他19自治体 (なし)	北九州市 (625ha)	北九州市 (41ha)
3位		横浜市 (133km)	他10自治体 (1つ)	神戸市 (0.59)		福岡市 (225ha)	横浜市 (8.2ha)
4位	他13自治体 (1つ)	神戸市 (105km)		熊本市 (0.40)		名古屋市 (135ha)	神戸市 (1.6ha)
5位		静岡市 (81km)		岡山市 (1.67)		岡山市 (109ha)	さいたま市 (1.6ha)

※全て北九州市調べ

→森林と都市のバランスを示す指標となっており、数値が1に近いほど望ましい

北九州市が世界に誇る「食」



合馬たけのこ



豊前本ガニ
(ガザミ)



寿司をはじめとした
世界に誇る北九州市の「食」

豊かな自然の恵み



関門海峡たこ
(マダコ)



豊前海一粒かき
(マガキ)



若松潮風®
キャベツ



小倉牛



若松潮風®
プレミアム



若松水切りトマト

豊かな自然を守り育み、未来につなぐための指針となる
新しい「生物多様性戦略」を策定

北九州市が目指す姿

北九州市 = 都市に近接した豊かな自然

世界初！

アーバンネイチャー北九州

アーバンネイチャーで世界の潮流をリード！

アーバン
ネイチャー



ネイチャー
ポジティブ

都市と自然との共生

(都市部におけるネイチャーポジティブの「グローバルモデル」)

世界をリードするサステナブルシティを実現！！

※ネイチャーポジティブ：単なる環境保全ではなく、生物多様性の損失を止め、反転させ回復軌道に乗せること 6

市民とともに作り上げた新戦略

ポイント①

- アーバンネイチャーフォトコンテストで
市民から応募いただいた作品を戦略に
掲載し、市民とともに作り上げた

ポイント②

- 市民の皆様の関心を惹き、
“読んで楽しい行政計画”を目指し、
「デザイン性」や「読みやすさ」を重視





全国初のセンターを中心に新戦略を強力に推進！

■ 戦略推進の活動拠点として、

新たに「ネイチャーポジティブセンター（※）」を設置

※「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律（令和6年法律第18号）」に基づく、「地域生物多様性増進活動支援センター」として位置づけ

■ 生物多様性に関する 10の公共施設 をセンターとして束ね、 面的に取組を推進

豊富な施設を活かして「施設群」として指定【全国初！】

ネイチャーポジティブセンター構成施設

響灘ビオトープ、いのちのたび博物館、水環境館、ほたる館、香月・黒川ほたる館、山田緑地、響灘グリーンパーク、平尾台自然の郷、到津の森公園、環境ミュージアム

アーバンネイチャーの魅力をより身近に

ネイチャーポジティブ推進の一環として、**本年6月をPR強化月間**とするなど、**今夏にかけて、広報・各種イベントを積極的に展開！**

ポータルサイト開設

ネイチャーポジティブセンターのイベント情報やその他関連情報を一元的に確認できるサイトを新設



センター発足記念イベント

ネイチャーポジティブセンターで、アーバンネイチャーを体験できる記念イベントを一体的に開催

**イベント等への参加を通じて、
アーバンネイチャーの魅力を感じてください**

ポータルサイトを活用したきめ細やかな情報発信

ポータルサイト（日本語版）

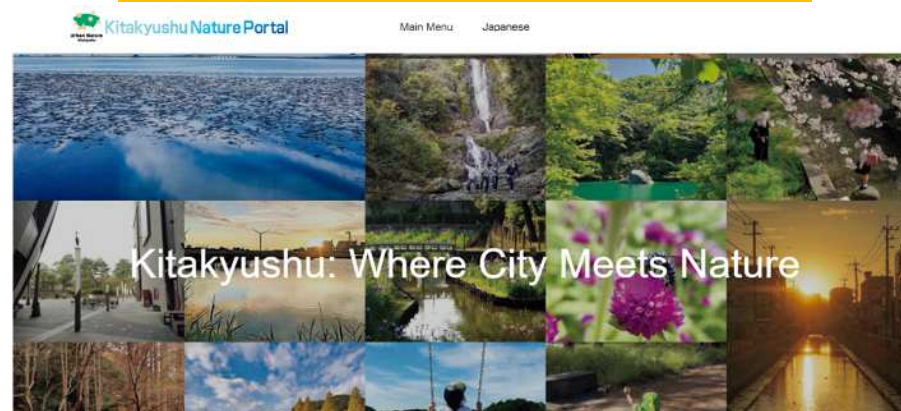


アーバンネイチャー北九州

自然と都市が共生する北九州の魅力を伝えるポータルサイト



ポータルサイト（英語版）



Urban Nature Kitakyushu

Kitakyushu City, which aims to create a symbiosis between the city and nature, offers many attractive spots to experience nature.



アーバンネイチャーの魅力を世界に発信！

記念イベント第一弾！【フォトコンテスト写真展】

- **アーバンネイチャーフォトコンテストの入賞作品の展示会**を
イオンモール八幡東店様で実施
- 併せて、**デジタルサイネージ**等を活用した、**戦略のP R**も実施

【実施期間】 5月22日（木）～6月5日（木）

【実施場所】 イオンモール八幡東1階 フードガーデン前



作品をご覧ください、アーバンネイチャーの魅力を体感ください！

記念イベント第二弾！【いきものクエスト】

- スマートフォンアプリ「Biome（バイオーム）」を活用した
いきもの観察イベント
- 北九州市内で、対象のいきものを見つけて投稿し、ミッション達成を目指す「いきものクエスト」を実施

【実施期間】 6月1日（日）～7月31日（木）

【実施場所】 北九州市内

【周知方法】 ポータルサイトに掲載

【その他】 ネイチャーポジティブセンターや曽根干潟等で
特別ミッションに参加可能
ミッション達成で景品に応募が出来る

普段何気なく見過ごしてきた身近な生きものたちに
目を向け、その魅力を再発見できます！



ネイチャーポジティブ宣言！

■ 北九州市が、「ネイチャーポジティブのグローバルモデル」

を目指すに当たり、意思表示を行うため、

西日本の政令市初！

本日、「ネイチャーポジティブ宣言（※）」を実施

※ 「ネイチャーポジティブ宣言」とは・・・

- ✓ ネイチャーポジティブの実現に向けて、様々なステークホルダーが、未来にむけた活動を表明し、一歩前進するための“宣言”
- ✓ 環境省が運営する会議体である、2030生物多様性枠組実現日本会議（J-GBF）が実施
- ✓ 290企業・団体が参加（2025年04月10日時点）

